

埼玉新演奏家連盟は埼玉県等で活動している新進の音楽家により平成4年に結成されました。県内に於いてコンサートを行うことを中心とし、勉強会を開くなど研鑽に励み、会員相互の親睦を深めつつ県の音楽文化の発展に寄与することを目的としています。主な活動は年2回の定期演奏会(ソロ、アンサンブル、新作品の発表等)のほか、幼児や児童に音楽の楽しさを知ってもらうことを目的に6年前からファミリーコンサートを開始いたしました。現在、会員数は98名で演奏はもちろん、企画運営から事務局等運スタッフまですべて会員の手で行っております。今後も皆様のご期待に応えられますよう積極的に演奏活動を展開してまいります。演奏会へのご来場を心よりお待ちしております。

●飯島秀之(トランペット)

武蔵野音楽大学卒業、プロフェッショナル養成X会卒業。デ・ポール大学で行われたJapan-U.S. Trumpet Symposiumに参加、ドルチェ楽器デビューコンサートに出演する。現在、教員として働きながら吹奏楽指導おこない、Emsemble Nexusの主宰として演奏活動を行なっている。

●桑子実千代(ピアノ)

国立音楽大学ピアノ科卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院に留学。ソロ、アンサンブル、合唱ピアニストとして活動しながら現在に至る。埼玉県立松伏高等学校非常勤講師。埼玉新演奏家連盟、埼玉県音楽家協会、日本演奏連盟会員。

●中里奈々(ピアノ)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。同大学特修科修了。ピアノを吉岡千賀子、J.ガネフ、K.ガネフの各氏に師事。ヤマハ音楽教室ピアノ科講師を経て、現在はソロ演奏、器楽や合唱の伴奏、合唱指揮者として演奏活動をする他、後進の指導にもあたっている。またボランティア演奏活動も積極的に企画、参加している。

●淋 智博(チューバ)

チューバを佐藤潔、ロジャー・ボボ、アネ=イェレ・フィサーの各氏に師事。武蔵野音楽大学卒業。チューリッヒ芸術大学大学院修了。七年間のスイス留学の間にチューリッヒ歌劇場、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ベルン交響楽団など数々のプロオーケストラに客演。2016年秋より日本での活動を再開する。

●清水 篤(ピアノ)

東京藝術大学音楽学部作曲科および同大学院修了。在学中に安宅賞を得る。2004年PTNAピアノコンペティション課題曲作曲賞(特級)。作曲を佐藤眞、ピアノを中嶋信子、田尻桂、岡本愛子の各氏に師事。桐朋学園大学、桐朋女子高校音楽科、伊奈学園総合高校、大宮光陵高校非常勤講師。

●山吉理恵子(ソプラノ)

東京藝術大学声楽科卒業。オペラ、ミュージカル、ポップス、各国の歌曲、第九ソプラノソロ等、幅広いレパートリーを持つ。2016年に初のソロリサイタルを開催する等、各所にて演奏活動を行う。やまよし音楽教室主宰、エクセラカルチャースクール声楽講師、大宮光陵高校講師、合唱団シンブソング指導者。

●遠藤美樹(フルート)

埼玉県立伊奈学園総合高等学校を経て上野学園大学演奏家コースフルート専門を卒業。フルートを三上

明子、佐藤嘉奈恵、野口博司、北川森央、レナーテ・グライス=アルミンの各氏に師事。室内楽を広田智之、吉野直子、佐々木祐子の各氏に師事。2015年ちば室内管弦楽団と協奏曲を共演。現在、ソロ、室内楽を中心に活動している。

●赤間亜紀子(ピアノ)

東京藝術大学附属音楽高校を経て同大学卒業。'15年より上尾市教育委員会主催「あげおクラシックコンサート」に毎回出演と共に、「五年で市内全ての小学校を巡るアウトリーチコンサートプロジェクト」に携わり、今年で完遂となる。県立大宮光陵高校講師、「ミュージカルを合唱で歌う混声合唱団ラ・フォーターナ」ピアニスト。

●榎本あい(ピッコロ、フルート)

国立音楽大学及び同大学院を首席で修了。第2回仙台フルートコンクール第3位。第12回日本フルートコンベンションコンクールデュオ部門入選。フルートを佐久間由美子、立川和男、小泉剛、宮本明恭、福澤佳子の各氏に、室内楽を宮本明恭、武田忠善の各氏に師事。「ハーツ・ウインズ」フルート・ピッコロ奏者。

●宇野晶太(クラリネット)

国立音楽大卒業後、東京ミュージック&メディアアーツ尚美ディプロマ学科を首席で卒業。クラリネットを西村一、浜中浩一、武田忠善、二宮和子、室内楽を生島繁の各氏に師事。「ハーツ・ウインズ」「フィルハルモニア多摩」各団員。「Ensemble BarBier」メンバー。「Luftschiff」主催。

●吉本絢子(ピアノ)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。同大学卒業演奏会に出演。武蔵野音楽大学特修科修了。ピアノを田尻桂、福井直敬、E. アシュケナーズの各氏に、室内楽をP. バデフ氏に師事。現在、伴奏等で演奏活動を行いながら、自宅にてピアノ教室を主宰し、後進の指導にあたっている。

●葛貫杏梨(ピアノ)

東京音楽大学卒業。ピアノを、坂井玲子、ブルーノ・リグット、岸邊真知子、進藤桃子、田村佳奈子、小畑真梨子の各氏に、ソルフェージュや作曲法を織田英子氏に師事。現在、声楽や器楽のアンサンブルや、合唱団の伴奏などの演奏活動を行う。また、ピアノ講師として後進の指導にあたっている。

●高宮洋平(ピアノ)

東京音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。同大学卒業演奏会に出演。ピアノを郡司典子、保坂千里、田尻桂、

三浦捷子、川上昌裕の各氏に師事。日本ピアノ教育連盟第17回ピアノオーディション入賞。入賞者演奏会に出演。現在、県立杉戸高等学校教諭。

●中野由弥(メゾソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。在学時にモーツァルト作曲「コシ・ファン・トゥッテ」のドラベッラ役でオペラデビュー。その他多数のオペラに出演。また「第九」をはじめモーツァルト、ヴェルディ「レクイエム」等宗教曲のアルトソロをつとめる。声楽を野本立人、故大國和子、寺谷千枝子、永井和子の各氏に師事。

●山口奈穂(ピアノ)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。2014年「日本バッハコンクール全国大会一般部門」銀賞受賞。2017年、音大生有志のオーケストラ、指揮・新垣隆氏とピアノ協奏曲を共演。ピアノを越川榮子、小島久里、重松聡の各氏に師事。埼玉、愛知のヤマハ音楽教室にて約8年間の講師活動を経て現在、豊島区にて山口音楽教室を主宰。

●高木三保(ピアノ)

東京音楽大学にてピアノとオルガンを学ぶ。「ラプソディー・イン・ブルー」(ガーシュウィン)、ピアノ協奏曲(シューマン)のソリストなど、ソロ活動のほか、ピアノデュオ、室内楽にて演奏会に数多く出演。ピアノを石川治子、三浦捷子の各氏に、オルガンを植田義子氏に師事。現在、音楽教室主宰。東京福祉専門学校講師、当連盟理事。

●草川正子(フルート、アルトフルート)

武蔵野音楽大学器楽学科フルート専攻卒業。同大学卒業演奏会に出演。フルートを神田寿夫、寺沢聖児、伊藤公一、高久進、アレクサンダー・テクニークを小野ひとみの各氏に師事。フルート演奏研究会「Bon Vivant」に所属し定期演奏会を行っている。

●高木 玲(アルトサクソ、バリトンサクソ)

東京音楽大学附属音楽専修コース(ディプロマ)修了。1993年にリサイタルを開催、以後サクソフォーン奏者として、また指揮、編曲でも活躍。演奏活動と平行して「モモンガレコード」を主宰し、国内外の著名演奏家のCD制作を行っている。藤の子会舞岡おんがく教室講師。戸塚っ子いきいきアートフェスティバル合唱指揮者・同実行委員。

第42回定期演奏会 川口リリア 音楽ホール 2019年6月1日(土) 14:00分開演

【入会オーディションのご案内】 2019年2月11日(月・祝)午後 カワイ川口リリアサロン

◆応募資格◆埼玉県内在住もしくは在勤。音楽大学卒業もしくはそれと同等以上の実力を有する方。

要項はホームページからダウンロードできます。 <http://www.sai-nfm.org/>

お問い合わせ、入会オーディション要項請求:埼玉新演奏家連盟 事務局(各川方) 048-852-9968 info@sai-nfm.org